



1e2016-004

2016 会計年度

一般財団法人ワンアース
事業報告書

平成 28 年 9 月

一般財団法人ワンアース



1e2016-004

はじめに

一般財団法人ワンアースは、宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを体感し、ひとつの星で共生するという新しい価値観に基づいた文化交流で、世界を一つに繋いでゆく、という目的を掲げ、平成 27 年 6 月 5 日に創立された。

本書は、当財団の 2016 年度(2015.10.1-2016.9.30)の事業報告である。
なお、当財団の事業年度は 10 月 1 日に始まり 9 月 30 日に終わる。

2016 年 9 月
代表理事
長谷川洋一



1e2016-004

1. 当財団設立の目的

宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを体感し、ひとつの星で共生するという新しい価値観に基づいた文化交流で、世界を一つに繋いでゆく

宇宙飛行士が、宇宙から生々しい言葉と映像を伝える時代になり、この星のありのままの姿が認知されるようになった。その結果、かけがえのない母星で共に生きる『地球市民』という新たな価値観が、国境を越えて醸成されつつある。

一般財団法人ワンアース®(以下、ワンアースという)は、地球市民、とりわけ未来を担う青少年らとともに、宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを学ぶ。

そして、国境を越えた地球市民活動を展開し、各地域の風土や文化の多様性を、相互に敬意を持って受け入れ、宇宙文化とも言える新たな共通の価値観を紡ぎ出す。

これらの活動により、この星に生きる誇りと喜びを共有し、世界を一つに繋いでゆくことを究極の目標とする。

2. 重点分野

当財団は、以下の分野を重視して、活動をスタートした。

1) きぼうの桜事業

宇宙を旅した「きぼうの桜」群を筆頭に、「ソラユリ(宇宙を旅したササユリ)」「宇宙すみれ春野・希望(宇宙を旅したコスミレ)」を、東日本大震災、阪神淡路大震災、日航機墜落事故、原爆等の被災地に贈呈し、復興と市民交流を支援するとともに、大災害の記憶を人類共有の教訓として継承していく。

2) 宇宙文化の創造事業

国内外からの地球市民の参加を得て、国際宇宙ステーション等を活用した宇宙ミッションを実施し、宇宙的視野からみた地球の姿および宇宙飛行士からのメッセージなどを世界で共有し、宇宙文化を創造していく。



1e2016-004

3. 機関設計

評議員3名 理事4名 監事1名 ☆常勤1名

評議員 赤木一朗(オリーブアカデミー代表)
野澤汎雄(プロデューサー)
村田さち子(詩人)

理事 ☆長谷川洋一(代表理事)
踊場敏子(多摩さくらびと)
工藤園子(元日本さくらの女王)
三船文彰(音楽プロデューサー)

監事 内田斉(実業家)

名誉顧問 セルゲイ・アウデエフ宇宙飛行士(ロシア連邦英雄)
リロイ・チャオ宇宙飛行士(第10代国際宇宙ステーション船長)
山崎直子宇宙飛行士 ほか、国内外の有識者、宇宙飛行士 等

顧問 日本各地の桜守、芸術家、文化プロデューサー 等

【主たる事業所】 〒301-0003 茨城県龍ヶ崎市平台 4-20-6

【ホームページ】 <http://www.the-one-earth.org/jp/>

【電子メール】 info@the-one-earth.org



1e2016-004

4. 2016 年度事業報告

2016 年度 (2015.10.1-2016.9.30) には、以下の事業を行った。

当初事業計画 (1e2016-001) に対比して進捗報告を行う。

当初事業計画骨子(下線は重点項目) <公開資料 1e2016-001 より>	
2015 年に一般財団法人として設立したワンアースは、定款にて『非営利が徹底された法人』として活動の実績を上げつつ、2016 年に、 <u>公益財団化の申請</u> を行う。	
きぼうの桜計画は、当財団の存在意義に関わる試金石でもあるため、最重要事業として推進し、2016 年度中には東北三県のすべての沿岸市町村にて計画を公式化する。	
さらに、きぼうの桜事業を全国的に認知してもらうためにも、 <u>公的補助金を獲得</u> し、メディア露出含めた広報努力を行う。	
また、2020 年頃までの成果を目指した <u>宇宙ミッション</u> を検討し、外部有識者・協力者の意見も取り入れつつ、魅力的なプロジェクト計画を 2016 年度内に策定する。	

重点項目達成状況概略		◎十分達成、○ほぼ達成、△遅れている、×問題有り
①	公益財団化の申請	○申請を開始した
②	きぼうの桜東北全公式化	△遅れている。意志決定したのは 13/30 市町村。植樹の実績を活用しながら 2017 年度はさらに推進する
③	補助金の獲得	△2 件(三菱財団、国土緑化推進機構)獲得したが、20 件落選。目標額 1200 万に遠く及ばず(260 万)。さらなる挑戦を続行
④	宇宙ミッション計画	△台湾も含めた世界ミッション「地球のかげら」を検討中だが、財源が具体化出来ていない
⑤	その他	◎台湾との交流事業 △マレーシアとの交流事業



1e2016-004

5. 課題と対策

【財源確保活動の強化と、身の丈に合わせた活動実施】

今期までの活動はなんとか実施してきたが、補助金、寄付金とも、財源に関わる活動がうまく進まなかった。特に、交通費などの経費だけでなく、財団運営に関わる共通経費（オフィス、人件費等）の拠出出来るタイプの財源を獲得する必要がある。

対策は以下の通り

- ① 関連する補助金公募には全て参加すること
- ② きぼうの桜に関する植樹実績をアピールして国や県に直接働きかけていくこと
- ③ ワンアース全般のサポートをしてくれる企業を見いだすこと
- ④ 一般向けの会員制度などを検討すること

6. 長中期事業項目 (2017-2020 年)

一般財団法人ワンアースの社会的使命を果たすため、中長期的には以下の事業に取り組む。

- 1) 宇宙桜等の保護、育成、増殖及び活用
- 2) 東日本大震災、阪神淡路大震災等復興地への支援活動
- 3) 青少年等の夢をはぐくむ宇宙文化創造事業（市民参加型宇宙ミッション含む）
- 4) 宇宙文化交流事業（海外への桜贈呈等含む）
- 5) 地球市民参加型宇宙ミッション（花伝説世界版、地球のかけら など）

これらに関しては、今年度の事業進捗を踏まえつつ、次年度以降の事業計画に反映していくものとする。

【事業報告の附属明細書】

1e-2016-002:「きぼうの桜計画書」